



# 市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。☎秘書政策課 ☎ 36-7117

今月のテーマ「もしものとき」あなたは、どんな選択を望みますか？

まずは、嬉しいご報告から。このたび、日本経済新聞社産業地域研究所が全国の790市と東京23区の813市区を対象に実施した「第2回介護・高齢化対応度調査」において、島田市が総合評価で第19位となりました。調査は「医療・介護」「生活支援・予防」「社会参加」など38項目を対象に、高齢化対策に関する自治体の総合力を検証したもので、前回(650位)からの伸び率が日本一となりました。

この実績からもわかるように、当市は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる施策の推進に力を入れています。また5月10日からは、市民の皆さんが「わたし」らしく生き暮らすことを目標に、県内初となる「リビング・ウイロ島田版」を、関係機関の協力を得てスタートさせました。



リビング・ウイロとは「もしものとき」の医療について、あなたの意思を表明しておくことです。「もしものとき」とは、人工呼吸器なしで呼吸ができなくなったり、飲んだり食べたりできなくなったり、できる限りの治療をしても、回復する見込みがなくなったときのことをいいます。リビング・ウイロ島田版は、もしものときに「どんな医療を受けたいのか」あるいは「受けたくないのか」、あなた自身の希望を書き込むことができる冊子です。

縁起でもないといわれそうですが、自分がどんな「最期」を望むかについて「生前の意思表明」として書き残しておくことは、あなたに代わって最期を決断しなければならない家族を救うことにもなります。

私たちは誰でも健康な生活を送り、死ぬときは自然な大往生を遂げたいと願っていますが、理想通りに「ピンピンコロリ」とならないときもあります。しかし、リビング・ウイロを利用してどんな最期を迎えたいか意思表明しておけば、自分らしく生を全うしたいという希望が叶うのです。そのためにも、あなたが元気で健康な今、自分自身の最期について考えてみてください。去る2月には、がんで亡くなる父親の姿を追ったドキュメンタリー映画「エンディング・ノート」を上映し、大きな反響をいただきました。再上映の要望も数多くいただいていますので、今後の上映会についても検討していきます。

同時に「島田市医療マップ」を2,500冊作成しました。お住まいの地域の医療機関や薬局などを知っていただくよう、中学校区単位で医療機関などの所在地・電話番号・診療日・診療時間などの基本的な情報が掲載されています。ぜひ、ご活用ください。



島田市医療マップ

※ 詳しくは、健康づくり課へお問い合わせください。  
☎健康づくり課 ☎ 34-3282

## みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

**湯** 日小学校で、恒例の全校茶摘みを行いました。児童38人は、地元老人会やPTA 役員の協力を得て、生葉約100kgを収穫。その日のうちに工場へ運び込まれた生葉は夜通し揉まれ、2日後には香り豊かで深い緑色の茶葉に姿を変えました。

児童たちは、自分の手で摘んだ新茶の味を楽しむとともに、お世話になった人たちに感謝の気持ちを添えて配ります。また、東日本大震災を機に交流を始めた磐崎小学校(福

島県いわき市)にも、島田の旬の味を届けます。

全校茶摘みは、児童たちが地域の主要産業でもあるお茶に触れる大切な機会。これをきっかけに、子どもたちが地元のお茶の素晴らしさに気付き、誇りを持ってほしいと思っています。(山村隆之：湯日小PTA・茶園管理者)

